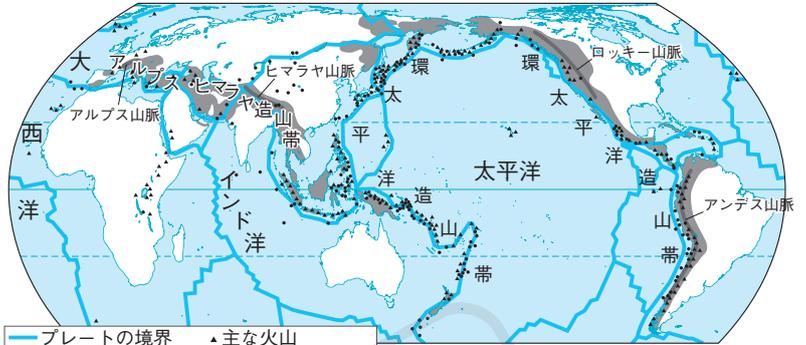


自然環境の特色

学習1 山がちな日本の地形

□地球上には、大地の動きが活発で、山地・山脈が連なっており、地震や火山活動がさかんなところがあります。こうした場所は、造山帯とよばれます。世界には、アルプス・ヒマラヤ造山帯と環太平洋造山帯があります。

▼世界の主な火山と地震の震源の分布



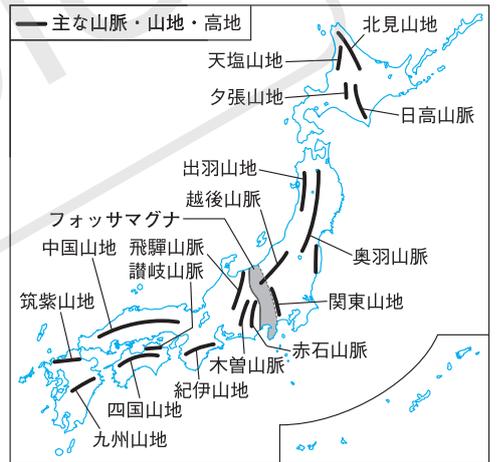
※プレートは、地球の表面をおおう硬い岩板のことです。プレートは、1年間に数cmほどの速さで動き、プレートどうしがぶつかったり、一方の下にもぐりこんだりしています。

□日本列島は環太平洋造山帯に属し、国土面積の約4分の3が山地となっていて、国土の大部分が山がちです。

□日本列島の中央部にある飛騨山脈、木曾山脈、赤石山脈は標高3000m級の山々が連なり、日本アルプスとよばれています。日本アルプスの東側にあるフォッサマグナを境に、山地や山脈は、東側ではほぼ南北の方向に、西側ではほぼ東西の方向に連なります。

用語 * フォッサマグナ…日本アルプスの東側にあり、断層(地盤の割れ目がずれ動いたところ)が集まったところ。

▼日本の主な山地・山脈



学習2 川がつくる地形と海岸や海洋の特色

□日本にある海岸沿いの平野や、山に囲まれた盆地は、川が上流から下流まで土砂を運ぶことでつくられました。

□川が山間部から平地に流れ出るところには扇状地が、海や湖に流れ出るところには三角州が見られます。扇状地の中央部は、水はけがよいため、果樹園として利用されています。水が地下にしみこみにくい三角州は、水田や住宅地として利用されています。

□台地は、周囲より一段高いところの平らな土地をいいます。台地は水が得にくく、畑や住宅地として利用されています。

□入り組んだ海岸線を持つリアス海岸は、山地が海に沈み、谷の部分に海水が入りこんでできた海岸です。リアス海岸は、波が穏やかで水深が深いため、よい漁港となっています。

□砂浜が続く砂浜海岸、サンゴ礁に囲まれた海岸などもあります。

□日本列島の周囲には、大陸棚とよばれる浅くて平らな海底が広がっています。日本列島の東の太平洋には海溝が見られます。

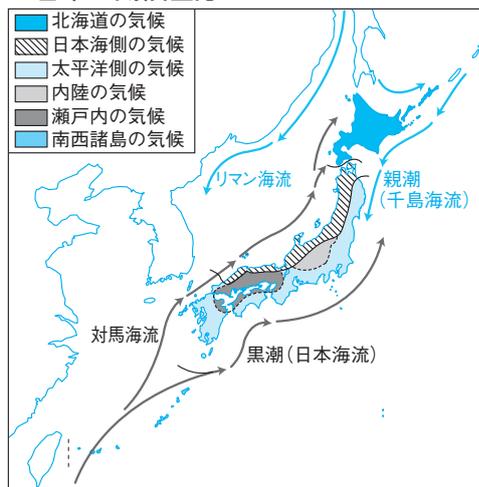
□一定の方向に向かって流れる海水の動きを海流といいます。太平洋の沖合いには、暖流の黒潮(日本海流)と寒流の親潮(千島海流)がぶつかる潮目(潮境)があり、豊かな漁場となっています。また、

▼日本の主な川・平野

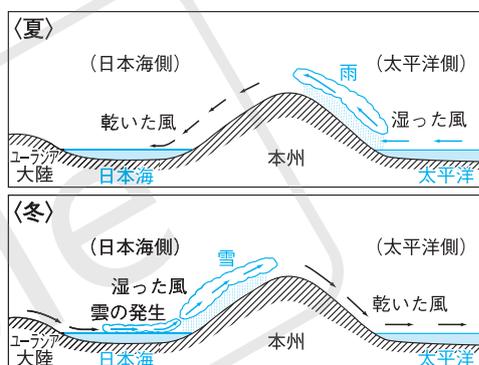


日本海では、黒潮から分かれた暖流の対馬海流が流れこみ、寒流のリマン海流とぶつかります。

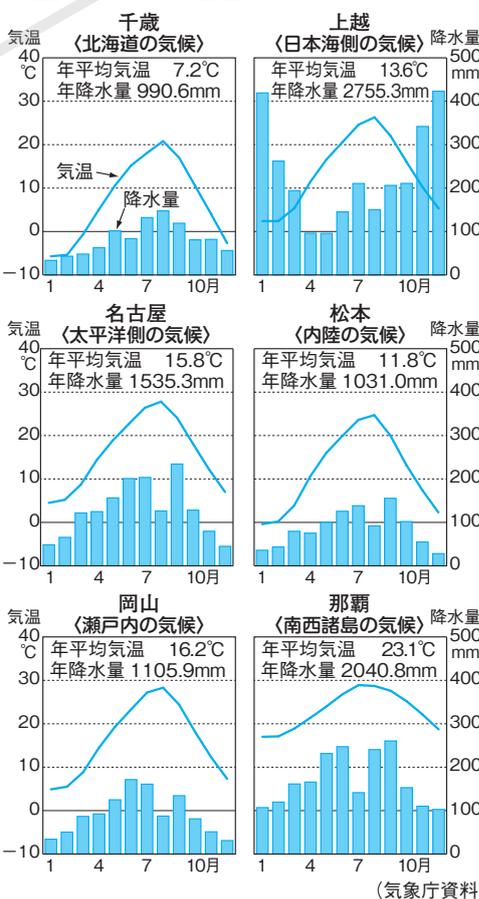
▼日本の気候区分



▼降水量の季節変化が起こるしくみ



▼主な都市の雨温図



学習3 日本の気候

- 日本の気候は、本州、九州、四国の大部分が温帯、北海道が亜寒帯(冷帯)に属し、四季がはっきりしています。
- 夏は太平洋側から、冬は日本海側から季節風がふきます。洋上で水蒸気を大量にふくんだ季節風は、日本列島の山地にぶつかり雨や雪を降らせます。山地をこえた季節風は乾いているため、反対側は晴天の日が多くなります。
- 6～7月ごろの梅雨や、夏から秋にかけての台風などにより、降水量が多いのも特徴です。日本の国土の3分の2は森林です。
- 北海道の気候…冬の寒さが厳しく、はっきりとした梅雨がありません。1年を通して降水量が少なくなっています。
- 日本海側の気候…季節風の影響で、冬に雪が多く、夏に乾燥します(右図参照)。
- 太平洋側の気候…季節風の影響で、冬は乾燥してよく晴れ、夏は降水量が多くなります(右図参照)。
- 内陸の気候…1年を通して降水量が少なく、夏と冬、昼と夜の気温差が大きいのが特徴です。
- 瀬戸内の気候…冬の季節風が中国山地に、夏の季節風が四国山地にさえぎられ、1年を通して降水量が少なく温暖です。
- 南西諸島の気候…1年を通して気温が高く、降水量が多くなります。

学習4 日本のさまざまな自然災害

- 日本は地震が多く、火山も多くあります。大地震は、地盤の液状化や津波などを引き起こすことがあります。
- 火山の噴火は、周辺地域に大きな被害をあたえます。
- 梅雨や台風は、高潮の被害、洪水や土石流などを引き起こします。
- ほかにも、雨が少ないことで起こる水不足や、夏の低温で作物が不作になる冷害など、さまざまな気象災害があります。

学習5 自然災害に対する備え

- 日本では、自然災害の被害を防ぐ防災や、被害をできる限り減らす減災への取り組みが進んでいます。近年は、南海トラフの巨大地震対策が進められています。自然災害の発生時には、国や地方自治体による公助だけでなく、自分自身や家族を守る自助や、地域の住民どうしで助け合う共助が大切です。
- 都道府県や市区町村では、ハザードマップとよばれる、災害時の被害予測・避難場所などを示した地図が作成されています。

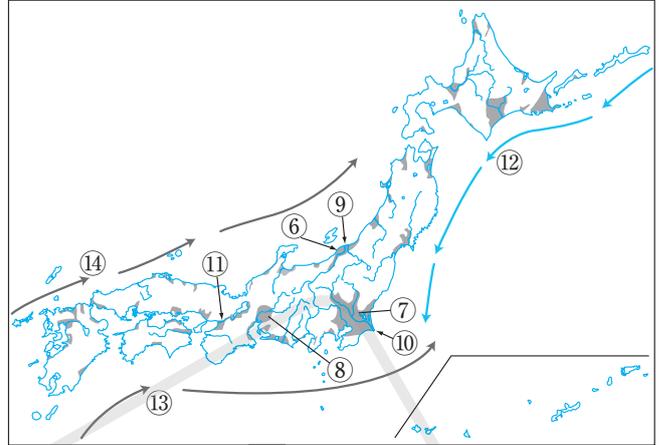
■ 確認問題 ■

1 ●地図で日本の地形を確かめよう● 次のⅠ・Ⅱの地図中の①～④の山脈、⑤の大地溝帯、⑥～⑧の平野、⑨～⑪の河川、⑫～⑭の海流について、あてはまる語句を書きなさい。ただし、①～④、⑥～⑧、⑨～⑪については、あとの[]から語句を選んで書きなさい。

Ⅰ 日本の主な山脈



Ⅱ 日本の主な平野・河川・海流



- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| ① 東北地方を南北に走る [] 山脈。 | ② 北アルプスとよばれる [] 山脈。 |
| ③ 中央アルプスとよばれる [] 山脈。 | ④ 南アルプスとよばれる [] 山脈。 |
| ⑤ 「大きな溝」という意味の [] 。 | ⑥ 新潟県に広がる [] 平野。 |
| ⑦ 日本で最も面積が大きい [] 平野。 | ⑧ 愛知県を中心に広がる [] 平野。 |
| ⑨ 日本最長の [] 川。 | ⑩ 日本で最も流域面積が広い [] 川。 |
| ⑪ 大阪湾に注ぐ [] 川。 | ⑫ 太平洋側を南下する寒流の [] 。 |
| ⑬ 太平洋側を北上する暖流の [] 。 | ⑭ 日本海側を北上する暖流の [] 。 |

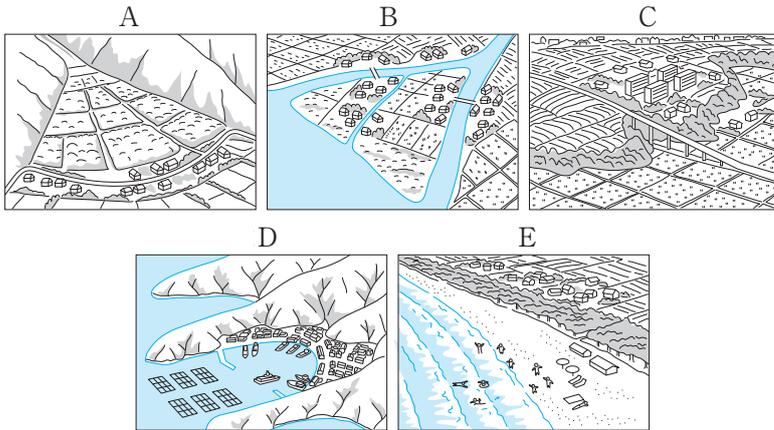
飛驒 利根 濃尾 越後 奥羽 関東 信濃 淀 木曾 赤石

2 ●一問一答● 次の問いに答えなさい。

- (1) 日本が属している造山帯を何というか。 []
- (2) 本州の中央部に連なる、飛驒山脈・木曾山脈・赤石山脈の3つを合わせて何というか。 []
- (3) 日本列島の周囲に広がる、水深が約200mまでの、海岸から緩やかに傾斜が続く海底を何というか。 []
- (4) 日本で6～7月ごろに降る長雨を何というか。 []
- (5) 都道府県や市区町村が作成している、災害時の被害予測・避難場所などを示した地図を何というか。 []

基本問題

1 次の図を見て、あとの問いに答えなさい。



- (1) Aは川によって運ばれた土砂が平地に積もってできた地形である。これを何というか。
- (2) Bは川の河口付近に土砂が積もってできた地形である。これを何というか。
- (3) Cは、海沿いの平地より一段高くて平らな地形である。これを何というか。
- (4) Dのような、海岸線が複雑に入り組んだ海岸地形を何というか。
- (5) Eのような、なめらかな海岸線が続く地形を何というか。
- (6) A～Eにあてはまるものを、次のア～オからそれぞれ選びなさい。

ア 主に水田として利用されてきたが、住宅地になっているところもある。

イ 水はけがよく、ぶどうなどの果樹園として利用されている。

ウ せまくて深い湾がたくさんあり、漁港や養殖場として利用されている。

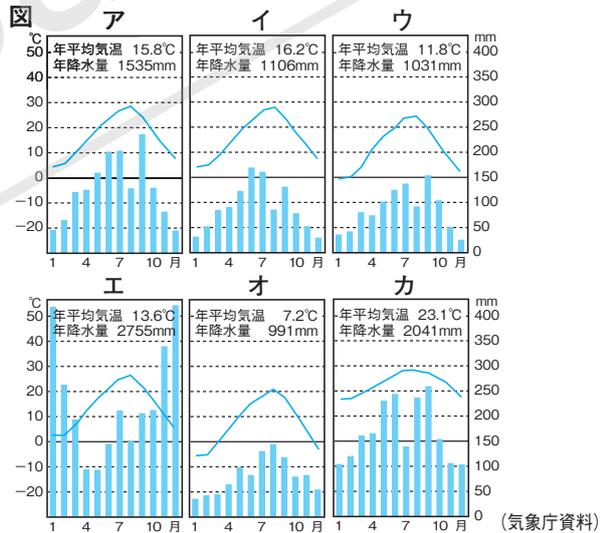
エ 水が得にくく、水田をつくりにくいので、畑や茶畑として利用されている。

オ 景観が美しく、観光資源になっている。

1

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	
(6)	A
	B
	C
	D
	E

2 右の地図や図を見て、あとの問いに答えなさい。



- (1) 地図中のA～Fの気候の特色を、次のア～カから選びなさい。
- ア 台風の通り道にある。一年中温暖で雨が多い。
- イ 年間降水量は少ない。冬でも温暖である。
- ウ 冬の寒さが厳しい。はっきりとした梅雨がなく、年間降水量は少ない。
- エ 冬は晴天が続く。夏は季節風の影響で雨が多い。
- オ 冬は季節風の影響で雪が多い。夏は乾燥する。
- カ 年間降水量が少ない。夏と冬、昼と夜の気温差が大きい。
- (2) 地図中のa～fの都市の雨温図を、図のア～カからそれぞれ選びなさい。

2

(1)	A
	B
	C
	D
	E
	F
	a
	b
(2)	c
	d
	e
	f

練習問題

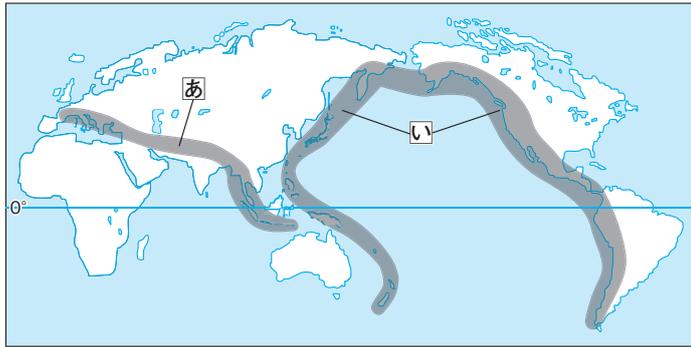
1 右の地図を見て、次の問いに答えなさい。

□(1) 地図中の㉠, ㉡の造山帯の名を書きなさい。

□(2) 地図中の㉠, ㉡の地域は、地盤が隆起し、高い山脈を造るなど、変動の大きいところである。この地域には何が多く、そのため、何が起きやすいか、書きなさい。

□(3) 地図中の㉠, ㉡に含まれるところを、次のア～ケからそれぞれすべて選びなさい。

- ア 日本列島 イ ヒマラヤ山脈 ウ ウラル山脈 エ インドネシア
 オ アンデス山脈 カ ロッキー山脈 キ アパラチア山脈
 ク アルプス山脈 ケ ニューゼaland



1

(1)	㉠	造山帯
	㉡	造山帯
(2)		が多く が起きやすい
(3)	㉠	
	㉡	

2 右の地図を見て、次の問いに答えなさい。

□(1) 地図中のA～Dの海流名を書きなさい。

□(2) 地図中のA～Dの海流のうち、①寒流にあてはまるもの、②暖流にあてはまるものの記号をそれぞれ書きなさい。

□(3) 地図中のA・Bの海流がぶつかり、豊かな漁場を形成するところを何というか。

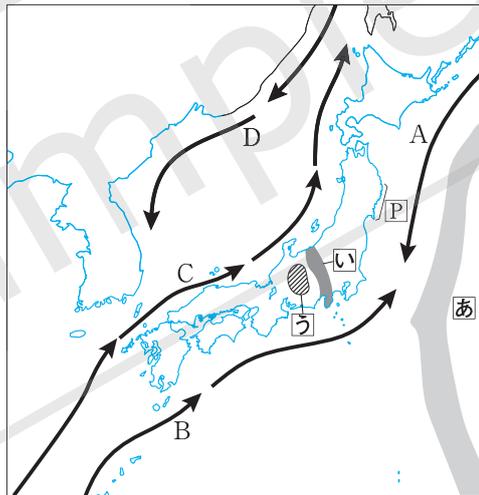
□(4) 地図中の㉢で示した海は大変深くなっている。このような深いところを何というか。

□(5) 地図中の㉣に見られる、断層が集まっているところを何と呼ぶか。

□(6) 地図中の㉤にある3つの山脈に含まれない山脈を次のア～エから選びなさい。

- ア 奥羽山脈 イ 飛騨山脈 ウ 赤石山脈 エ 木曾山脈

□(7) **表現力** 地図中の㉦は自然の漁港にめぐまれている。㉧の海岸地形の特色を、地形名を入れて簡単に説明しなさい。



2

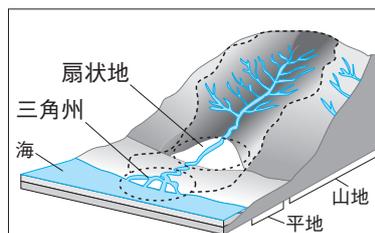
(1)	A	
	B	
	C	
	D	
(2)	①	
	②	
(3)		
(4)		
(5)		
(6)		
(7)		

3 右の図を見て、次の問いに答えなさい。

□(1) **表現力** 図の扇状地とはどのような地形か、解答欄の文末に合うように簡単に説明しなさい。

□(2) **表現力** 図の三角州とはどのような地形か、解答欄の文末に合うように簡単に説明しなさい。

□(3) 桃やぶどうの果樹園に利用されているのは、扇状地と三角州のどちらか。

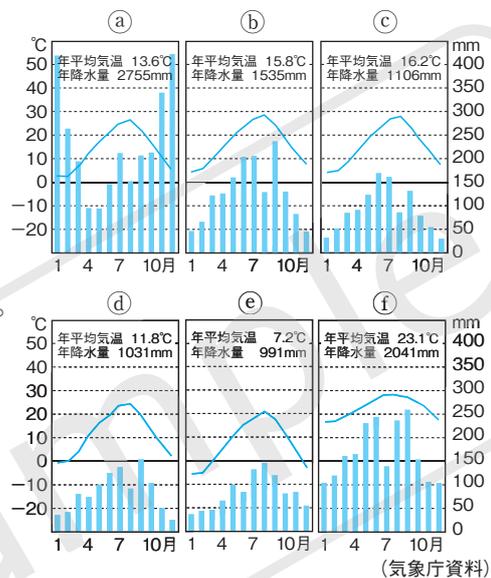
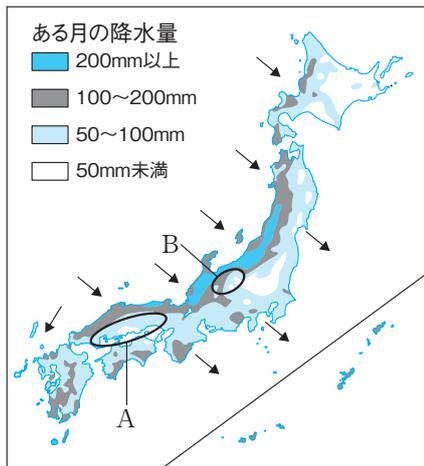


3

(1)		に形成される地形。
(2)		に形成される地形。
(3)		

4 右の地図や雨温図を見て、次の問いに答えなさい。

- (1) 地図中の→で示した風を何というか。
- (2) (1)の風はどの方角からふいているか、8方位で書きなさい。
- (3) 地図中の→で示した方角に風がふく季節は、夏と冬のどちらか。
- (4) 地図によると、(3)の季節には日本海側・太平洋側の天気はどうか。次のア・イから選びなさい。
ア 晴天の日が続く。
イ 雪の日が多い。
- (5) (3)・(4)より、日本海側の気候を表す雨温図は、
①・②のどちらか。
- (6) 1年を通して雨が少ない、地図中のA・Bの地域が属する気候名を書きなさい。
- (7) 地図中のA・Bの気候の特色を、次のア・イから選びなさい。また、それぞれの雨温図は、降水量の少ない③・④のどちらか。
ア 夏と冬の気温差が大きく、冬は寒い。
イ 夏と冬の気温差が小さく、冬は暖かい。
- (8) **表現力** ③・④の雨温図では、6月・7月の降水量が多くなっている。その理由を10字以内で書きなさい。
- (9) **表現力** ①～④の雨温図では、9月の降水量が多くなっている。その理由を10字以内で書きなさい。
- (10) ⑤・⑥の雨温図にあてはまる都市を、次のア～エから選びなさい。
ア 松江(島根県) イ 那覇(沖縄県) ウ 千歳(北海道) エ 浜松(静岡県)



4

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	日本海側 太平洋側
(5)	
(6)	A の気候 B の気候
(7)	A . B .
(8)	
(9)	
(10)	⑤ ⑥

5 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

日本では、①自然災害による被害を防ぐ(①)や、被害をできるだけ少なくする(②)の取り組みが行われている。災害が発生すると、③国や県、市町村などが、被災者の救助や支援を行う。しかし、これにたよるだけでなく、自分自身や家族を守る(③)や、住民どうしが助け合う(④)という行動をとる必要がある。また、県や市町村では、④地震や川が氾濫したときの被害を予測した地図も作成している。

- (1) 文中の①～④にあてはまる語句を、次のア～エから選びなさい。
ア 自助 イ 防災 ウ 減災 エ 共助
- (2) 下線部①について、次の①～③にあてはまる自然災害を下のア～クから選びなさい。
① 地震で起きる災害 (2つ) ② 火山の噴火で起きる災害 (1つ)
③ 台風により引き起こされる災害 (3つ)
ア 土石流 イ 津波 ウ 高潮 エ 火砕流
オ 水不足 カ 液状化 キ 冷害 ク 洪水
- (3) 下線部②のことを何というか。
- (4) 下線部③のような地図を何というか。

5

(1)	① ② ③ ④
(2)	① . ② ③ . .
(3)	
(4)	